独立行政法人国立病院機構
理事長　　新木　一弘　殿

熊本南病院の早期再開を求める要請署名

独立行政法人国立病院機構熊本南病院は、熊本県神経難病拠点病院として、宇城地域はもとより県南部全域の神経難病（パーキンソン病、ALSなど）患者にとっての最後の砦であり、また、宇城保健医療圏で唯一の「緩和ケア病棟」を有する熊本県指定がん診療連携拠点病院として、終末期を迎えた患者と家族を支えるなど、まさになくてはならない病院です。さらに、呼吸器内科をはじめ多岐にわたる専門医療を提供しており、急性期病院の後方支援、在宅・施設への架け橋として、地域住民の大切な「かかりつけ総合病院」として重要な役割を果たしてきました。

しかし、2026年7月28日に発生した熊本地震により大きく損壊したことで診療停止を余儀なくされ、12 月 1 日で診療休止措置の手続きを行うことが発表されました。地震直後より地域住民や患者から再建を求める声が広がる中で、全国139病院を統括する国立病院機構は、「地域医療の提供体制などふまえて検討していく」と、現時点では熊本南病院の再建について明言していません。もしも、このまま再建されなければ、専門的な治療を受けられなくなる難病患者やその家族は拠り所を失い、命や暮らしに直結する事態となります。また、日常の通院や持病の管理などで頼るべき医療機関を失うことは、地域住民の安心が根底から覆されることになります。地域の医療崩壊を防ぎ、安心して住み続けられる地域を守るためには熊本南病院が絶対に必要です。つきましては、今こそ国民のいのちを守るという国立病院機構の責任を果たすよう、以下の事項について要請します。

【要請項目】

1. 熊本南病院を新築再建すること。
2. 仮設診療棟（外来）・病棟を設置するなど1日も早く診療再開をはかること。

お名前	居住地(市町村まで)
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県
	都道 府県

※ 記入いただいた個人情報は、目的外に使用することはありません。

【呼びかけ団体】熊本南病院を守る会準備会（仮称）
【連　絡　先】全医労熊本地区協議会内
住所：〒861-1116 熊本県合志市福原 208 国立病院機構菊池病院内　職員宿舎 2－201
電話：096-248-2789